



グローバルスタディーズ学部



今後のスケジュール

- 11月3日(火・祝)
文化の日（授業あり）
- 11月13日(金)
学園祭の準備（授業なし）
- 11月14日(土)・15日(日)
学園祭「SGS Festa」
※今年はオンライン開催
- 11月16日(月)
学園祭の後片付け（授業なし）
- 11月23日(月・祝)
勤労感謝の日（授業あり）
- 12月5日(土)
TOEIC試験
- 12月27日(日)～1月7日(木)
冬季休業期間
- 1月8日(金)
秋学期 授業再開
- 1月11日(月・祝)
成人の日（授業なし）
- 1月16日(土)
メモリアルデー（授業なし）
- 1月23日(土)
TOEIC試験
- 1月26日(火)～2月1日(月)
秋学期試験期間

発行責任者：
学部長 安田 震一
多摩大学
グローバルスタディーズ学部
〒252-0805
神奈川県藤沢市円行802番地
TEL： 0466-82-4141

ご登録ください 保護者向けメールマガジン

授業や学生の課外活動、就活イベント等、多摩大学の最新情報を発信中。

【登録URL】

<https://www.tama.ac.jp/student/sgs/sgs-kouenkai/>



学部長あいさつ

「さあ～秋学期が始まりました！」

SGS Newsletter 第28号をお届けします。

秋の卒業式は9月26日（土）に挙行され、新たに8名がめでたく社会人となりました。これでSGS卒業生は合計1,067名となりました。また、9月18日（金）の入学式では、すでに日本に在住している留学生1名を受け入れることになりました。これで、2020年度の入学者数は合計164名となりました。

今年はコロナウイルスの影響で、残念ながら夏季の海外研修、短期・長期留学、さらには秋学期の交換留学生もおりません。国際交流には少々寂しい一年となります。しかし9月末には、シンガポールのNYP（ナンヤンポリテクニック）の研修グループをオンラインで受け入れました。来年2月のマカオ大学研修、NYPへ本学学生を送り出す際も、オンライン実施を考えております。



学部長 安田 震一
(ヤスダ シンイチ)
William Shang
(ウィリアム シャング)



「多言語メニュー作成支援」プロジェクト
藤沢市観光協会の田邊輝広さん（SGS卒業生・写真右）と、本学部2年生の井原さん（写真左）



「コロナウイルス」をテーマにしたシンポジウムで講演する寺島学長

オンラインの活用の動きは、大学と地域との連携においても同様です。今年度は、藤沢市、藤沢市観光協会との協力体制を「小規模な対面とオンライン」に移行し、いかに拡大・強化するかを考える年になりそうです。その一環として、まず8月28日（金）～9月18日（金）に、1年生2名、2年生4名、3年生6名、4年生2名の合計14名が藤沢市観光協会主催の「多言語メニュー作成支援」プロジェクトに参加しました。参加了の学生は、夏休みを返上して藤沢駅北口・南口のレストランやコーヒーショップのメニューを多言語化し、地域のインバウンド対策に貢献しました。また、寒川町観光協会のホームページの多言語化もSGSの学生が協力しております。こちらはステイ・ホームでも貢献できるプロジェクトです。掲載写真や説明文を多言語化するもので、現状では約半数を多言語化できており、来年3月まで続きます。

例年、秋はイベントの予定が多くなります。まず、10月16日（金）に恒例のSGS主催の学長シンポジウムを開催いたしました。9回目を迎えた今回は、昨年末まで外務省に勤務していた新美潤学科長が「移動と交流－ポルトガルを例として」と題した発表を行い、寺島学長の基調講演「ポストコロナの世界と日本－新しい視座を求めて－」へつなげました。ソーシャルディスタンス等、コロナ対策に最大限配慮した開催の中、当日は150名の方にご参加いただき、「コロナをきっかけとした幅広い現状分析を学べた」「自分と世界が繋がっていることを改めて考えさせられた」など数多くの感想をお寄せいただきました。

続く10月24日（土）には、JC青年会議所の皆様と協力する「教えて！オリンピック・パラリンピックのちから『+1』from Fujisawa～」にオブザーバーとして出席させていただきました。藤沢市の中学生が、ポルトガル・パラリンピック選手団とオンラインで交流するイベントです。

春学期はオンライン授業でしたが、大学として、コロナウイルスの感染拡大防止と教育の質の両立に向けた対策を同時に進めてきました。皆様のご理解・ご協力のおかげで、9月21日（月）から始まった秋学期は対面授業を再開することができました。しかしながら、今後も予断を許さない状況は続きます。皆様、健康にはくれぐれもご留意ください。

保証人の皆様方におかれましては、ご子息、ご令嬢の学習をご家庭で見守っていただき、何か気になることがございましたら、お気軽に大学へご一報ください。しっかり対応させていただきます。これも本学の「少人数教育」の利点の一つですので、最大限に活用していただければ幸いです。SGSは、皆様とともに手作り感あふれる学生指導、充実した留学制度、就職先の開拓などを視野に入れ、地域貢献にも取り組みながら進化していく所存でございます。

春学期のオンライン授業を終えて

新型コロナウイルス感染の影響により、今年度の春学期授業は異例な形での実施となりました。初日が5月11日と例年から大幅に遅れたことに加え、オンラインでの実施という、ほぼ全員の教員にとって初体験となる形で授業が開始されました。Zoomという電子会議システムを利用しましたが、通信環境の問題による問い合わせが何件かあったものの、2週間後には安定的に授業を実施できるようになつたという教員の報告もあり、さすがデジタル世代の学生さんと感心しました。学生の皆さんとの真剣な取組みとともに、ご家族の方の温かいご協力があったからこそと、この場を借りて感謝申し上げます。

緊急事態宣言の解除後は、オンラインではなく対面で先生と触れ合いたいという学生の意見や、今後の展開を考え、対面授業に戻すことを試みました。特に、1年生については「志スタートアップ」という授業の中で初めてキャンパスに来てもらいましたが、グループワークではZoomの中とはやはり一味違った白熱したディスカッションがそこかしこに見られました。



1年生「志スタートアップ」での対面授業

春学期のオンライン授業を終えて、教員からは「欠席・遅刻が減少した」「私語がなくなって、授業がスムーズに進む」といった肯定的な意見も上がりましたが、その一方で「教員と学生の信頼関係が築きづらく、学生がどのように授業を受け止めているかが分かりにくい」「学生間の関係を築くことも難しく、ディスカッションが盛り上がりがない」といったオンライン授業の限界を指摘する声もありました。学生の皆さんからも時間的・経済的なメリットを指摘する声は多かったのですが、「学生間のつながりができない」ことを訴える声も数多く、今後の検討課題と捉えています。

学生会執行部スローガン・コロナ支援制度



現在、世界的に流行している新型コロナウイルスは、私たちの生活にさまざまな影響を与えていました。これまで何か行動を起こそうと思っても、前例がない中で何をすればいいのか分からず、指示を待ってしまうことが多くありました。しかし、この状況に臨機応変に対応する必要があると考え、学生会の最上位組織である私たち執行部は、スローガンを掲げることにしました。このスローガンの下、秋学期の活動により積極的に取り組んでいきたいと思います。

新型コロナウイルス感染症への経済的影響に対する支援について

新型コロナウイルス感染症の影響により、世帯収入やアルバイト収入等が激減し、経済的支援が必要な学生が増加しているため、6・7月の2回にわたって文部科学省が「学生支援緊急給付金」制度の募集を行いました。本学部からは74名が採用となりました。今後も同様の募集が行われる可能性が高く、全学生へのメール配信やT-NEXTでの掲示、HPへの掲載等でご案内します。



執行部部長 井上 賢伸（3年）

後援会定期総会を開催しました

グローバルスタディーズ学部第12回後援会定期総会を、8月29日(土)13時半から湘南キャンパスで開催しました。

総会に先立ち、安田震一学部長をはじめ、「就職」「国際交流」「教務」の各委員長を担う教員が、学部の現況を説明しました。

総会では、2019年度の事業報告・決算報告・監査報告、2020年度の事業計画と予算について審議され、参加した皆様と委任状によるご承認をいただきました。また、役員会で選出された2020年度の役員および会長についても承認されました。副会長3名、監事2名、理事29名（常任理事含む）も併せて紹介されました。



新年度事業計画と予算を説明する
山下新会長



オンライン授業の様子を説明する安田学部長

初のオンライン市民講座を開催しました

本学部初の試みとして、電子会議システム「Zoom」を活用した遠隔方式の市民講座を7月26日（日）に開催しました。第1部は、橋詰博樹特任教授が講師を務めたオンライン講座『コロナウイルス対策の基礎知識』。続く第2部は、堂下恵教授をファシリテーターとして『コロナと共生～藤沢の未来を考えよう』をテーマに、オンライングループディスカッションを実施しました。8名の教員をグループリーダーとして各々の視点から熱く議論が交わされました。一般市民24名、本学学生9名が参加。一般市民の方は初めてZoomを体験された方が多く、「とても良い経験ができた」などのご感想をいただき、盛況のうちに終了しました。



モニターに表示された参加者たち



初!

11月14日（土）・15日（日）

「SGS Festa 2020」 オンライン開催



今年の学園祭は、新型コロナウイルス感染症の拡大を受けて、初の試みとなる「オンライン形式」で実施します。

学園祭実行委員会を中心に協議を重ねた結果、例年とは異なる新しい形での開催に踏み切ることとなりました。未知の取り組みのため課題はたくさんありますが、毎年お越しいただいていた方だけでなく、遠方にお住まいの方も気軽に楽しめるよう、実行委員一同準備を進めています。

オンライン学園祭へのご声援、よろしくお願ひいたします。

[最新情報はコチラから →](#)



※新型コロナウイルス感染拡大の状況により、内容を変更することがあります。

秋卒業式と秋入学式を開催しました

9月18日(金)に入学式、9月26日（土）に卒業式を行いました。

秋の入学式は、一般的に留学生の割合が多いのですが、新型コロナウイルスの感染拡大によって海外からの入国が制限され、今回の新入生は1名のみ。異例の雰囲気に「すごく緊張します」と苦笑いを見せる中、それでも堂々と抱負を語ってくれました。1日も早く本学での生活に慣れて、多くの学びや在学生との交流を楽しんでくれることを期待しています。



新入生の周暢さん（写真中央左）

卒業式では、卒業生8名（うち1名欠席）を盛大に送り出しました。代表で答辞を述べた鈴木凱登さんは、「1年生のときのシンガポール研修をきっかけに、他者への敬意やコミュニケーション、仲間と学ぶ大切さを知り、自分を変えることができました」と、家族や教員、友人に心を込めて感謝を伝えました。



安田学部長に答辞を述べる鈴木凱登さん（写真右）



教職員と記念撮影する卒業生たち

国際交流センター

春学期交換留学プログラムの報告

春学期の長期交換留学プログラムが終了しました。新型コロナウイルスの感染拡大により、当初予定していたシンガポール留学は中止となりましたが、台湾では感染状況が比較的軽微であったことから、学生や保護者と相談を重ねて、留学を開始することができました。台湾到着後は2週間の隔離期間がありました。その後は特に制限もなく、検温、マスク着用、消毒などを厳守することで対面授業を受けることができました。日本から来た留学生を気遣う台湾人の優しさに励まされ、先が見えない不安な状況の中でも初志を貫徹できた経験や学びをこれから留学を考えている学生にも知っていただけるように、国際交流センター事務課では「留学座談会」の開催を検討しています。



義守大学（台湾）のイベントに参加した本学部生たち



真理大学（台湾）の学生と本学部生

NYPオンライン・スタディツアーアー

本学部では、毎年秋学期にシンガポールのナンヤンポリテクニック（NYP）の研修グループを受け入れてきました。しかし、今年は入国制限によりオンラインでのスタディツアーコースとなりました。9月28日～10月2日に、NYPの教員・学生が日本の歴史や文化、国際政治などについて本学の講義を受講。さらに藤沢市観光協会とコラボしたパネルディスカッション「The New Normal for Travel and Tourism」や本学部生との交流会に参加するなど、想定を遥かに超える充実感を得ることができました。今回のオンライン交流から、新たな国際交流の可能性が見えてきました。今後は、現実・バーチャルを組み合わせて、学生たちに新しいプログラムやイベントを提供していきます。



オンラインで国境を越えたパネルディスカッション

キャリア支援課

4年生（11期生）の10月26日現在の内定率は55.2%です。ご存知の通り、コロナ禍を受けて企業の採用スタイルは、一気にWeb化が進みました。劇的に変化をした就活環境の中、Webツールを活用して就活を順調に進める学生がいる一方、活動が停滞してしまう学生も少なくありませんでした。こうした状況において、本学の内定率は他大学の傾向とほぼ同様に、昨年同時期比の約マイナス10%で推移しています。引き続き企業の採用動向は予断を許しませんが、キャリア支援課では個別支援の一層の強化、多摩キャンパスとの協働による合同企業説明会への誘導など、学生が満足できる進路先決定を目標に、卒業時ぎりぎりまでフォローします。

また、3年生に対しては、「キャリア支援講座」ならびにハイクラスなサービス業界を希望する学生向けの「サービス・エアライン講座」について、対面とオンラインを併用したハイブリッド形態で実施していく予定です。

表：4年生（11期生）の主な内定先

建設業	(株)三技協、三友技術(株)、(株)住居時間(スマイルタイム)
製造業	(株)高山医療機械製作所、(株)パリ、(株)横浜リテラ
情報通信業	(株)ITSコア、(株)アクシスウェア、(株)加賀ソルネット、(株)システム、(株)YSLSリューションズ、(株)コドモン
運輸業、郵便業	(株)イー・ロジット、国際自動車(株)、(株)日本交通、(株)ナカノ商会、平和交通(株)
卸売業、小売業	(株)ITX、(株)アクト、(株)あさひ、(株)エフティグルーブ、(株)Coo&RIKU東日本、(株)グリムスソーラー、(株)小泉、(株)コーエン、(株)ココカラファイン、(株)サン德拉ッグ、(株)スズキ自販神奈川、(株)スズキ自販湘南、トップ産業(株)、(株)トモズ、(株)西原商会、日産プリンス神奈川販売(株)、(株)ピーシーデボコーポレーション、(株)ビックカメラ、(株)ホンダカーズ中央神奈川、(株)マイテック、マーカーズシャツ鎌倉(株)、(株)LIXILビバ、レモンガス(株)、(株)ロビア
金融業、保険業	かながわ信用金庫、東芝保険サービス
不動産業、物品販貸業	(株)共立メンテナンス、(株)クレアスライフ、(株)センチュリー21ジャパン、大東建託(株)、(株)トーシンパートナーズ、日本プロパー(株)、(株)三春情報センター、ユーミーライフグループ、ハウスコム(株)
宿泊業、飲食サービス業	リゾートトラスト(株)、(株)四季リゾーツ
生活関連サービス業	(株)アコディア・ゴルフ、(株)アンダーツリー、KJC・Group(株)、(株)マタハリー、(株)メディロム・ヒューマン・リソース
教育、学習支援業	学校法人立花学園
医療、福祉	(株)アスモ介護サービス、社会福祉法人きしろ社会事業会、(株)クラーチ、(株)ケア21、(株)サンケイビルウェルケア、社会福祉法人サンフレンズ、SOMPOケア(株)、医療社団法人ビーエムエー、(株)ベネッセスタイルケア、(株)やさしい手
専門技術サービス	(株)オン・ザ・プラネット
複合サービス事業	さがみ農業協同組合
その他サービス業	(株)KSP、Suprieve(株)、マンパワーグループ(株)、(株)ワークポート

図書館

「コロナ禍の今こそ、本を読もう！」

春学期中はキャンパスへの入構制限のため、学生の皆さんに図書館を利用していただくことが難しかったのですが、「Stay homeの時にこそ本を読んでもらおう！」と、5月中旬から湘南キャンパスと多摩キャンパスの両図書館で「郵送貸出サービス」をスタートしました。これは全国の大学図書館の中でも非常に早い取り組みでした。お陰様で、SGSライブラリーでは69件の依頼と143冊の貸出（8月31日現在）という実績となりました。

秋学期は新型コロナ感染予防対策を十分に講じつつ、通常の図書館サービスを再開しています。明るく快適な図書館で、大いに自学自習に励んでもらえるよう願っています。

志望理由書の書き方・添削、本番の面談・面接を想定した模擬面談 etc...

総合型選抜対策セミナー

11/28(土) 2/24(水) 2/25(木)

入退場

自由

【来校型】miniオープンキャンパス も開催！

11/14(土) 11/15(日)



各日 13:00~16:00

予約はコチラから→



多摩大学の「総合型選抜」は
事前にしっかり
準備できます！